

8/11 木

靖国に首相玉串料

「誤った態度」

中 国

外務省の汪文斌（おうぶんひん）副報道局長は15日の記者会見で、岸田文雄首相が靖国神社に玉串料を納めたことについて、「歴史問題に対する日本側の誤った態度を反映している」と批判し、「厳正な申し入れ」を行ったとして明らかにしました。

汪氏は「歴史を直視し深く反省することが、アジアの隣国と正常な関係を回復・発展させるための必要な前提だ」と強調。日本に

「失望と遺憾」

韓 国

【ワウル＝時事】韓国外務省報道官は15日、岸田文雄首相が靖国神社に玉串料を納めたことについて、「歴史問題に対する日本側の誤った態度を反映している」と批判し、「歴史の教訓をくみ取り、平和発展の道を堅持し、国際社会の信頼を維持する」として、「深い失望と遺憾を表明する」との論評を発表しました。論評は「日本の責任ある人物」と表現し、岸田首相を名指しはしませんでした。報道官は「歴史を直視し、過去に対する謙虚な省察と眞の反省を行ってほしい」と求める」と強調しました。